

令和 3 年度原子力施設等防災対策等委託費(被ばく解析手法の整備)
事業に係る入札可能性調査実施要領

令和 2 年 12 月 23 日
原子力規制庁長官官房技術基盤グループ
シビアアクシデント研究部門

原子力規制庁では、令和 3 年度原子力施設等防災対策等委託費(被ばく解析手法の整備)事業の受託者選定に当たって、一般競争入札(価格及び技術力等を考慮する総合評価方式)に付することの可能性について、以下のとおり調査いたします。

つきましては、下記 1.事業内容に記載する内容・条件において、的確な事業遂行が可能であり、かつ、当該事業の受託者を決定するに当たり一般競争入札(価格及び技術力等を考慮する総合評価方式)を実施した場合、参加する意思を有する方は、2.登録内容について、4.提出先までご登録をお願いします。

1. 事業内容

重大事故の影響を評価するため、確率論的環境影響評価コード OSCAAR(以下「OSCAAR コード」という。)を整備する。大気拡散・沈着解析モデル、被ばく評価モデル及び防護措置解析モデルについて、モデルの改良及びパラメータの整備を実施する。基本仕様は 1.1 のとおりであるが、詳細については、原子力規制庁の担当者と適宜協議の上決定する。

1.1. 事業の具体的内容

1.1.1. 時系列情報の出力に関する改修

OSCAAR コードでは、被ばく線量等を計算期間の積算値として出力している。計算期間における結果の時系列変化を確認するため、OSCAAR コードを改良する。

1.1.2. 被ばく評価モデルの検討

現状の OSCAAR コードでは再浮遊物質からの外部被ばくについてサブマージョンを仮定した線量換算係数を利用している。そこで、CFD を用いた解析により再浮遊物質の空間分布に関する検討を実施し、同経路からの被ばくをより現実的に評価するための線量換算係数の整備に必要となる作業を整理する。

1.1.3. データの整備

最新知見に基づく解析を実施するため、解析用データの整備を実施する。

原子力災害の中長期対策も含めた防護措置の効果等に係る分析を実施するため、確率論的影響に関するパラメータについて、原爆被ばく者に関する寿命調査等の調査を行い、入力パラメータへの反映に必要な作業を整理する。

また、防護措置に関する社会的リスク検討のため、敷地施設緊急事態要避難者等を考慮した防護措置効果の分析に必要なパラメータ等を検討し、OSCAAR コードを用いた解析で用いるデータの整備に必要な作業を整理する。

なお、本事業の実施にあたっては、国内外における確率論的環境影響評価に係る会議等が開催される場合にはこれに参加し、評価モデルの検討に関連する情報を入手する。

1.2. 事業の進捗管理

原子力規制庁に対して事業の進捗状況を報告し、漏れの無いように計画内容を遂行する。

1.3. 無償貸与が可能な物品

原子力規制庁が必要と認めた資料等

貸与物品及びその成果物については、本業務の目的以外には使用せず、本業務終了後に受注者の責任において返却すること。

1.4. 事業期間

契約締結日から令和4年3月31日まで

事業開始日(契約締結日)は本事業に係る令和3年度予算(暫定予算を含む。)が成立した日以降とする。

2. 登録内容

- ・ 事業者名
- ・ 連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail、担当者名)

3. 留意事項

- ・ 登録後、必要に応じ事業実施計画等の概要を聴取する場合があります。
- ・ 本件への登録に当たっての費用は事業者負担になります。
- ・ 本調査の依頼は、入札等を実施する可能性を確認するための手段であり、契約に関する意図や意味を持つものではありません。
- ・ 提供された情報は庁内で閲覧しますが、事業者に断りなく庁外に配布することはありません。
- ・ 提供された情報、資料は返却いたしません。

4. 提出先

郵送または E-mail にてご提出願います。

【提出先】〒106-8450 東京都港区六本木 1-9-9

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門

市川竜平宛て

【TEL】03-5114-2224

【FAX】03-5114-2234

【E-mail】nra.contact.019u.d2p@gmail.com

(登録例)

令和 年 月 日

原子力規制委員会
原子力規制庁長官官房技術基盤グループ
シビアアクシデント研究部門

令和3年度原子力施設等防災対策等委託費(被ばく解析手法の整備)
事業について

令和2年12月23日付、標記実施要領に従い、以下の事項を登録致します。

登録内容

事業者名

連絡先

住所

電話

FAX

Mail

担当者名